

AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか

プログラム内容

1. はじめに

- 内部監査の目的
- 内部監査とリスクマネジメント
- 難しくなる内部監査

2. 内部監査でのリスクの把握法

- 経営との関係を重視
- 過去リスクの分析
- 未来リスクの分析
- イメージで考える

3. リスクマネジメントと新技術

- AIとリスク
- IoTとリスク
- ビッグデータとリスク
- RPAとリスク
- テレワークとリスク

4. 監査の進め方

- AIを対象にした監査チェックリスト（例）
- IoTを対象にした監査チェックリスト（例）
- ビッグデータを対象にした監査チェックリスト（例）
- RPAを対象にした監査チェックリスト（例）
- テレワークを対象にした監査チェックリスト（例）

5. 内部監査での新技術の活用

- CAAT（コンピュータ支援監査技法）の活用法
- AI、IoT、ビッグデータ、RPAの活用可能性
- リモート監査、アジャイル監査

6. おわりに

- 過去型から未来型の監査へ
- 原因分析型から目的分析型の監査へ

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

東洋大学工業技術研究所客員研究員（元）東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人／公認内部監査人
（元）東京ガス㈱ 監査部業務監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス㈱入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年～2022年東洋大学総合情報学部教授、2022年～現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師（科目：コンピュータ会計論）。博士（工学）、公認内部監査人（CIA）、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者（経済産業省）、公認情報システム監査人（CISA）、公認情報セキュリティマネージャー（CISM）。

（著書）『はじめての内部監査』（日科技連出版社）、

『内部監査の実践ガイド』（日科技連出版社）、

『リスク図による情報セキュリティ監査の実践』（同文館出版）、

『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』（編著 日科技連出版社）、

『システム監査の実務解説（第3版）』（同文館出版）。

『情報セキュリティの基本』（日本実業出版社）。